企業名・団体名（東洋観光事業株式会社）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、学歴、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、事業所責任者が積極的に関与している ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・オンライン研修やホットラインの徹底　（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・オンライン研修やホットラインの徹底　（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を事業所責任者を含め共有している ・長時間労働防止のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている ・管理本部との連携による月中での時間外進捗管理を行っている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている ・セクショントレーニングを導入しフォローアップ ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・営業開始前後、期中のヒアリング体制構築 【予定】・外国籍社員のみの研修を行う				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社内による講習会等の実施 ・事業所内での啓蒙活動の取り組み ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・安全衛生委員会を月1回開催し、労災防止、健康の維持等、職場環境改善の為の確認を付き1回程度行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する理解を深めるための研修を実施　（オンラインを含む）			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・事業所内の職場で多様な人財が活躍できるように職場の理解を深め、かつ、労働環境を整備している ・更なる環境整備と多様な人材採用で登用者増を図る ・多様な人財の活躍状況をHPや季刊誌等で積極的に発信している 【予定】能力にあった女性管理職の登用を増加する					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している（一般職研修、管理職研修、接遇研修など） ・外部研修も取り入れて研修機会を増やしている 【予定】社内一般スタッフによる研修も行いエンゲージメントを図る				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容の研修を受講する等で、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制を整えている ・同一労働同一賃金等の原則について役職員へ周知している ・グループのコンプライアンス方針の遵守					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・安全衛生委員会による従業員の健康保持・増進の取り組みを行っている ・健康経営に関わる啓蒙活動の実施 ・階段利用の奨励を行う			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・生ゴミ等の廃棄物は重量の計測を行い、適切な処理を行っている(BV) ・提供する料理の分量を調整し、食材ロスの削減を実施 ・松本市3010運動に参加 ・事業所ごみの分別廃棄を実施し、総量削減に努めている。回収業者からマニュフェスト提出を求めている。 【予定】事業所内のゴミの分別も細かくする											11.6	12		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】信州Greenでんきへの参加することで、使用電力に対するCO2を算出							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・節電対策 ・EV車の利用、EV充電スタンドの設置 ・【予定】ノーマイカー通勤の推奨 ・省エネ商品の利用促進（LED電球へ交換等）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、対象物の使用量を毎年チェックする			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて生物多様性の保全に配慮している ・ｱﾙﾋﾞｺﾞﾙｰﾌﾟｸﾘｰﾝｷｬﾝﾍﾟｰﾝ参加や感謝の日の清掃活動実施により、地域環境の美化を行っている						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・レストランで使用している箸をリユースできるお箸を利用 ・間伐材を薪に転用し有効利用をしている(蓼科) ・空き瓶類やペットボトルなど再利用を行っている。 ・連泊のお客様の客室リネンの交換は必要最低限となるような取り組みを行っている。												13		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・温泉の除雪活用、館内暖房利用 ・水道事業者として、契約者の利用状況を把握し、自社の水道管の計画的な更新を行い漏水等の無駄を防ぐ						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・グループのコンプライアンス方針の遵守												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】信州Greenでんきへの参加							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	温泉の安定供給のため、源泉の揚湯、配湯設備の計画的な更新を行っている												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内規程で定めている ・定期的にコンプライアンス研修で研修を実施し、役職員へ周知している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競売行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施し、役職員へ周知している ・定期的にコンプライアンス研修で研修を実施し、役職員へ周知している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標等知的財産権の取得・管理を行っている ・社内規程に定められた事項を役職員へ周知し、遵守している								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報保護方針」をホームページで公表している ・社内研修を行い情報管理のルールを役職員へ周知し、適切に管理している																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・コンプライアンスや反社チェック）をグループ共通で行っている。 ・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しを実施している ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を実施している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を事業所内で共有し、役職員へ周知している ・社内表彰制度を実施									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】容器まで食べれるメニューの開発						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・老人ホーム慰問、小中学校の社会見学などに積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域の自治体や町内会、商工会議所等に出席し、地域に与える影響を確認・把握し、適切に対応している ・営業区域のインフラである温泉・上下水道の安定的な供給のため、計画的な設備の更新、異常発生時の対応に努めている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・定期的に事業所周辺地域の清掃を行っている ・老人ホームや障害施設への慰問を行っている ・大学・高校などで講義を行い、地域に貢献できる人材の育成 ・地元の高等学校や大学、調理専門学校からの研修受け入れ				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・レストランや宴会・ブライダル部門等では地域の生産物や特産品　　を積極的に利用・活用している ・地域の特産品をショップや外販で積極的に販売している ・地元採用を優先して実施している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営方針発表会を実施 ・経営理念や経営方針を従業員へ周知している								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内規程に定められ、役職員へ周知している ・社内報や掲示物等で法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・SDG担当官を任命している																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・パートナー企業向けの交流会や事業所内の交流会等を実施し、適宜、ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク管理規程を定め、リスクの洗い出しや評価を行っている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																	16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画（BCP）の策定を行っている									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【社会貢献】すべての人に健康と福祉を	献血への協力			3														
【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	蓼科社有地への植林													13		15		

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）